

精神保健福祉士について

精神保健福祉士は、1997年に誕生した精神保健福祉士領域のソーシャルワーカーの国家資格です。1950年代より精神科ソーシャルワーカーという名称で、精神科医療機関を中心に、医療チームの一員として導入された歴史ある専門職です。

私たちは、社会福祉学を学問的基盤として、精神障害者の抱える生活問題や社会問題の解決のための援助や、社会参加に向けての支援活動を通して、その人らしいライフスタイルの獲得を目標としています。

ストレス社会といわれる現代にあって、広く国民の精神保健保持に資するために医療、保健、そして福祉にまたがる領域で活躍する精神保健福祉士の役割はますます重要になってきています。

信頼される精神保健福祉士たり得るためには、専門職として必要な自己研鑽や、多くの仲間との情報交換・ネットワーク作りが欠かせません。本会はみなさまの精神保健福祉士としての活動をサポートします。

入会のご案内

日常の実践の中でかわり迷いを感じたり、これでよかったのかと思ったりすることはだれにでもあることだと思います。また、実践の中で明らかになる課題を単独の機関や個人で解決することが難しいこともあります。

所属機関を超えて、同じ専門職同士が仲間として横のつながりを持つことで、精神保健福祉士個人では解決できない課題・問題に取り組んでいく力を持つこともできると考えます。石川県精神保健福祉士会には、日ごろの悩みや課題を共有し、一緒に考えることができる204人（令和4年5月現在）の仲間がいます。あなたの入会を心よりお待ちしております。

入会の資格について

石川県内に勤務、もしくは在住する公益社団法人日本精神保健福祉士協会の構成員で、本会への入会を希望される方が対象です。

会費について

入会費 2,000円 / 年会費 3,000円

※ホームページから入会申込書をダウンロードできます。



石川県精神保健福祉士会 事務局
〒922-0424 加賀市小菅波町 121 番地 1
医療法人社団長久会 加賀こころの病院
TEL : 0761-72-0880
ishikawapswjimukyoku@gmail.com

2022年5月版



石川県精神保健福祉士会

会の目的

石川県精神保健福祉士会は、精神保健福祉士の資質の向上を図るとともに、精神保健福祉に関する普及啓発等の事業を行い、精神障害者の社会的復権と福祉のための専門的・社会的活動を進めることにより、精神保健福祉領域におけるソーシャルワークの発展および県民の精神保健福祉の増進に寄与することを目的としています。

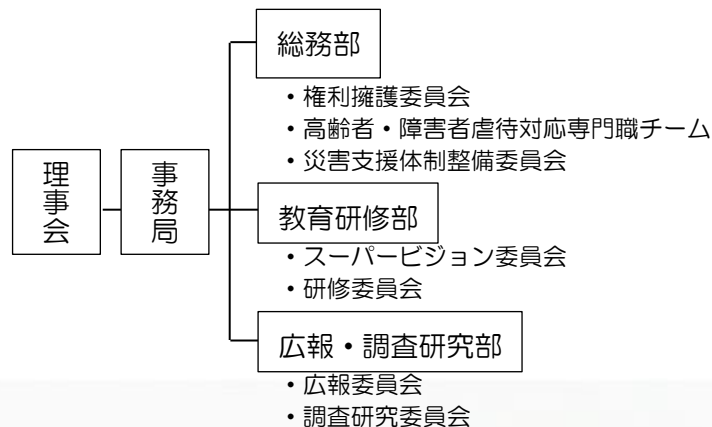
石川県精神保健福祉士会規約
第2章「目的及び事業（目的）」より抜粋

活動内容

- 研修活動
 - …全体研修のほか、初任者研修、ブロック別研修も開催しています。
- 会報誌の発行
 - …会報誌を発行しています。
(ホームページからも閲覧できます)
- 情報の伝達
 - …会員に精神保健福祉にかかわる最新の情報を伝達します。
- 精神保健福祉の課題や背景への提言・調査研究
- 公益社団法人日本精神保健福祉士協会との連携
- 関連団体との連携、合同事業の企画
 - …社会福祉士会との合同研修や、北陸三県の精神保健福祉士会での合同企画研修等を行っています。
- その他、本会の目的に合致する事業

組織体制

石川県精神保健福祉士会では、「総務部」「教育研修部」「広報・調査研究部」の3部体制のもと、会員が積極的に活動に参画し、研鑽を重ね、ネットワークも強化しています。



総務部

障害者・高齢者虐待の解決にむけての取り組みや・医療や福祉に加え、司法や教育現場等においても権利擁護の取り組みを行っています。また県内外での災害対策・支援体制の整備、生涯研修制度である基幹研修を主とする日本協会との連携や、関係機関・関係団体等との連携などを主に行っています。

教育研修部

クライアントと協働し、チームで支援を行うことのできる人材育成を目標に研修会を開催します。会員同士が支え合い成長できる体制作りの一環として、グループスーパービジョンの実施や経験年数別・ブロック別の研修会も行います。研修を通じ会員自身も横のつながりを持ちながら互いに支えあい、ともに力をつけていける機会を提供します。

広報・調査研究部

ホームページやメーリングリスト、会報誌の発行等を通して、会員への学ぶ機会への関心や参画の促進のための情報発信、また会員以外に対しては精神保健福祉士の活動についての啓発活動を行います。また会員に対する調査研究の実施や各種イベントでの啓発活動も行います。

※ホームページやFacebookをご覧ください。



石川県精神保健福祉士会

検索